

東郷湖羽合臨海公園夢広場トイレ洋式化改修工事

図 面 リ ス ト		
図 番	図 面 名 称	縮 尺
M - 01	表紙・図面リスト	NS
M - 02	機械設備工事特記仕様書（１）	NS
M - 03	機械設備工事特記仕様書（２）	NS
M - 04	配置図・付近見取図	1/700
M - 05	機械設備工事 衛生設備 平面図（改修後・改修前）	1/50
E - 01	電気設備工事 コンセント設備 平面図（改修後）	1/50
A - 01	建築工事 平面図（改修後・改修前）	1/50
A - 02	建築工事 建具表（改修後・改修前）	1/50



I. 工事概要

2 建物概要

3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

Ⅱ. 特記仕様

1 一般事項

- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
- 印の付いたものによる。
- ◎ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）
 - 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
 - ◎ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）
- (2) 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（令和7年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。
- (3) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特 記 事 項

- (1) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は ● 印の付いたものを適用する。
- 印が付かない場合は、○ 印の付いたものを適用する。● 印と ⊗ 印の付いた場合は両方を適用する。
- (3) 一般共通事項のうち (1、2、3、11、12、14、15、16、17、18、36) 項は、● 建築 ● 電気設備 工事特記仕様書による。

一般共通事項

⑬ 完成図等

14 他工事との取合

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
 設ける。（寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一括して表示する。）

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり据置き方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行う。

構内に作ることが ※ 出来る ● 出来ない

(ア) 埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土 (● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)

- 山砂の類 ()
- 重砂土 ()

- 建設発生土処分
- 構内から搬出
- 構内仮留構内に処分
- 構内仮留構内に堆積

配管、ダクト類の保温種別等は、下記若しくは図示による。

● 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)

● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ●)

● 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● **◎ ポリスチレンフォーム**)

● 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)

● 空調用ドレン管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ@ (t)))

● 冷媒管 (● 冷媒用断熱被覆銅管 (JCDA-0009) ●)

● ロックワール ● クラスワール ● 保温チューブ (厚さ@ t) J 260037

● ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●)

● 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール)

● 全熱交換機の機器外気側ダクト（ ● 給気側 ● 排気側 ）は保温（グラスウール25mm厚）する。

● 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート ●)

座外 (● 樹脂製化粧ケース ● SUS鋼板 ●)

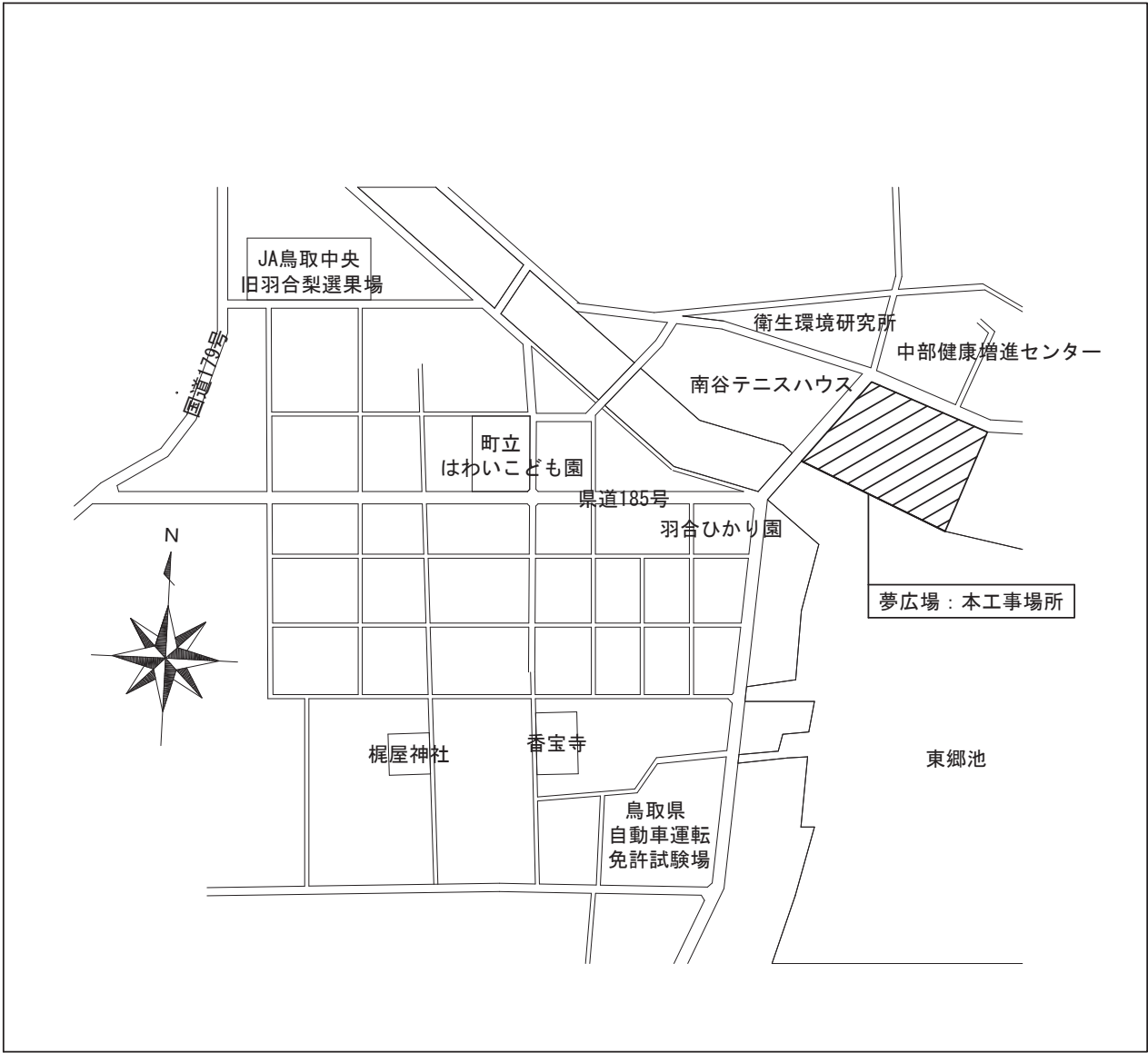
鳥取県
令和8年度
J2600372
中部環境建築
局

	一級建築士事務所／建築設備設計事務所 Mechanical&Electrical Engineers	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 08-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	NS	工事名称 東郷湖羽合臨海公園夢広場トイレ洋式化改修工事	図面番号 M-02 / 05
			田村	角田	角田	角田	設計年月日	2026. 09	図面名称 機械設備工事特記仕様書（１）	

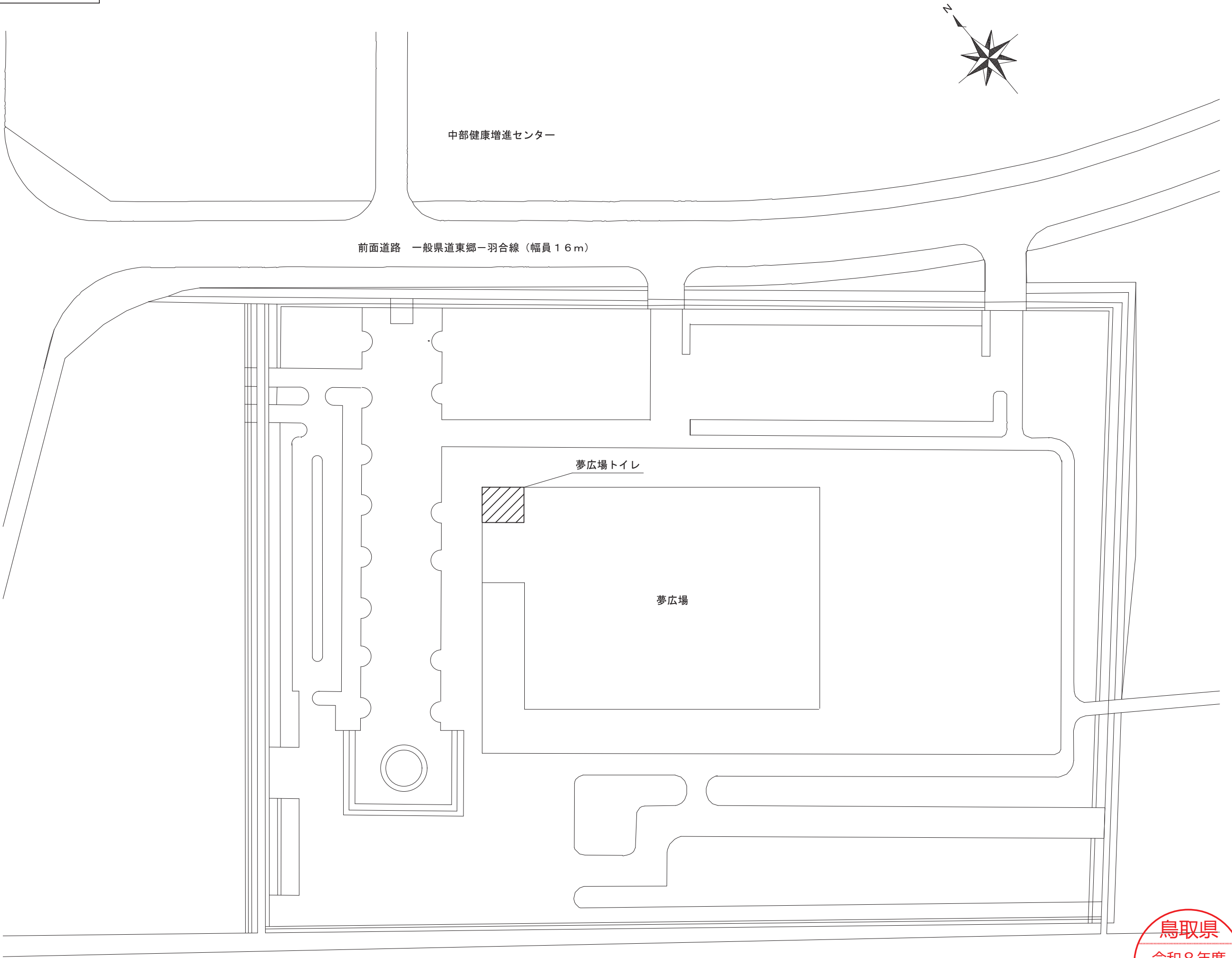
一般 共通 事項	21 地中埋設鋼管類の防食処置	※ 標準仕様書（ ● ペトロラタム系 ● プチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート ）による。 ● 図示による	1 設計用温湿度条件	外気条件 温度 湿度 （ DB ） （ RH ） 室内（調整目標値） 一般 （ DB ） （ RH ） 夏季 ℃ % 28.0 ℃ % ℃ % 冬季 ℃ % 19.0 ℃ % ℃ %	⑥ 衛生器具設備	① 衛生器具の参考型番 2 小便器用節水装置 3 自動水栓 ④ 大便器洗浄弁 ⑤ 温水洗浄便座 6 衛生器具の取付高さ ⑦ 器具と排水管接続	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 ※ 小便器一体型 ● 小便器分離型 ● 洗浄水量 4 リットル／回以下 ※ 個別感知方式（ ● AC 電源 ● 自己発電 ● 乾電池 ） ● 手動式 電源供給方式 ● AC 電源 ● 自己発電 ● 乾電池 操作方式 ⑨ 電気開閉式（ ● センサー式 ⑩ タッチスイッチ式 ） ⑨ 手動式 洗浄用水加温方式 ● 瞬間式 ⑩ 貯湯式 ※ 標準図（施工 6 5）を参考に現場で調整、決定する ● ※ 標準図（施工 6 6）による ⑩ 標準図（施工 6 5）
	22 絶縁継手	● 標準図（施工 3） ● (1) 絶縁フランジ ● (2) 絶縁シート ● (3) 絶縁スリーブ ● (4) 絶縁ユニオン	2 冷却水管	※ SGP（白） ● SGP－VA ● SGP－PA	⑦ 給水設備	1 量水器	● 親メーター ※ 借用 ● 買取（ ※ 直読 ● 遠隔表示 ） ● 子メーター ※ 買取 ● 借用（ ※ 直読 ● 遠隔表示 ）
	23 防振継手	※ 合成ゴム製（球形） ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形（ステンレス製）	3 冷水・温水・冷温水管	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）		② 配管材料	(ア)一般配管 ⑨ SGP－VB ● SGP－PB ● SUS304 ● SUS316 ● H1VP ● 架橋ポリエチレン管 (イ)土間下配管 ● SGP－VD ● SGP－PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316 (ウ)地中配管 ● SGP－VD ● SGP－PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316 ● 水道配水用ポリエチレン管（75～100A） ● 水道用ポリエチレン二層管（50A以下） (エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 (オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。） (カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手 ※ 口径 6.5A 以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。 ● 5K（受水槽以降の配管に使用） ● 10K（公営水道に直結する配管に使用） ● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用） 屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温式（二重蓋含む）とする。
	24 伸縮管継手	※ ペローズ形 ● スリーブ形	4 膨張・空気抜・補給水管	※ SGP（白） ● ステンレス鋼管（SUS304） ※ SGP（黒） ※ STPG370－Sch40（黒） ● ステンレス鋼管（SUS304） 一般配管 ※ SGP（黒） 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ※ 冷媒用断熱材被覆鋼管 ● ステンレス鋼管 ● SGP－VA ● ※ VP ● カラーVP（ ● 屋外露出部 ● ） ● SGP（白） ※ 5K ● 10K ※ 流量調整弁 ● 定流量弁（ ● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形 ）を取付ける。 (ア)防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式（動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。） (イ)ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ● ※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナボルト工法（ ● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法 ） （長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。） ● アングルフランジ工法 ● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製 シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工50）を参考とする。 接続するダクトの施工が困難な場所フレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンパー等を取付ける場合には、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則400×600）を取付ける。 形式はビトー管式（コック付）とする。 ● 着脱式 ● 固定式 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷温水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ユニット形空調機と機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● メカニカル形 ● 風速センサー形 機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計 空気漏りを生ずと思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 ※ 手動 ● 自動 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工39（g）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400（ ※ 3.2mm ● 4.5mm ） ● SUS（ ※ 1.5mm ● 2.0mm） 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ● 取付けない 油面計はゲージ式（側圧計）とする。 据付け方法 ● 標準図（施工33）（二重殻タンク・タンク室無し） ● 標準図（施工34）（タンク室有り） タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要（ ※ 別途工事 ● 本工事 ） 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表特記による。 ● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。 図示する配線、遮断機の仕様（サイズ、容量等）は参考とし、受注者が採用した機器の製造者仕様と適合させる。 採用機器により仕様や改修範囲に変更が生じた場合は、原則として受注者の負担で施工する。			
	25 塗装	塗装は標準仕様書第2編3.2及び図示による。 残りねじ部及びバイブレンチのチェック跡部の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。 上記によらず ● 塗装する部分・箇所（ ） ● 塗装しない部分・箇所（ ）	5 蒸気給水管	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）	2 満水試験継手	● 親メーター ※ 借用 ● 買取（ ※ 直読 ● 遠隔表示 ） ● 子メーター ※ 買取 ● 借用（ ※ 直読 ● 遠隔表示 ）	
	26 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径60Su以下の継手は、SAS322を満足する（ ※ メカニカル型 ● ）とする。	6 蒸気還水管	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）	3 バイブシャフト内配管の保温	※ 施工する ● 施工しない	
	27 溶接配管の検査	● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管 非破壊検査の適用（ ※ 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ● 放射線透過検査 ● 実施しない ） 抜取率（ ※ 標準仕様書による ● % ） ● 地中埋設標を標準仕様書によるほか図示する箇所に設ける。 ● 埋設表示用テープを埋設する。（ ● ガス管 ● 屋外給水管 ● ）	7 油・油用通気管	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）	4 煙試験	※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う	
	28 埋設表示	ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはステンレス（SUS304）製とする。屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス（SUS304）製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。 下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質（ ● 一般飲料水適否検査 ● ） ● その他水質等（ ● 雑用水 ● 空調用流体 ● ）	8 冷媒管	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）	9 1 配管材料	● SGP－HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管 ● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※ 5K ● 10K	
	29 支持金物・固定金具	改修標準仕様書 第4章 撤去及び公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	9 空調用給水管	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）	2 弁類	● 5K ● 10K	
	30 総合試運転調整	改修標準仕様書 第4章 撤去及び公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	10 空調用ドレン管	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）	10 1 配管材料	(ア)一般配管 ● SGP（白） ● STPG (イ)土間下配管 ● SGP－VS ● STPG－VS (ウ)地中配管 ● SGP－VS ● STPG－VS ※ 10K ● 16K (ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する (イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する (ウ)配管の保温は次による。（屋外露出箇所は別表2・（ウ）・Ⅶによる ● 施工しない ） ● 屋内消火栓用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● スプリンクラー用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● 連結送水用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● 連結放水用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓（ ※ 1号 ● 2号 ） ● 素索 ● IG－541 ● IG－55 ● HFC－227ea ● HFC－23 ※ 手動 ● 自動手動切替式	
	31 アスベスト含有建材の処理	改修標準仕様書 第4章 撤去及び公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	11 弁類	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）	2 弁類	● 5K ● 10K	
一般 共通 事項	32 補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	12 ファンコイルユニット	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）	⑧ 排水設備	3 排水試験継手	● 親メーター ※ 借用 ● 買取（取付け ※ 別途 ● 本工事 ） ● 子メーター ※ 買取 ● 借用（取付け ※ 本工事 ● 別途 ） ● 継型 ● 横型 ● 借用 ● 買取 ● 標準図（施工74）の ● 要領（a） ● 要領（b） ● 要領（c） ● 標準図（施工75）の ● 要領（a） ● 要領（b） ● 不要 ● 要（ ※ 別途工事 ● 本工事 ）
	33 はつり	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	13 ダンパー	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）		4 煙試験	※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う
	34 はつり工事における非破壊検査	探査方法 ※ 電磁誘導式または電磁波レーダー法 ● 放射線透過検査 実施する。	14 ダクト	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）		9 1 配管材料	● SGP－HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管 ● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※ 5K ● 10K
	35 室内空気中の化学物質の濃度測定	工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。 （保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。）	15 吹出口・吸込口	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）		2 弁類	● 5K ● 10K
	36 火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。 （保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。）	16 チャンパー等	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）		10 1 配管材料	(ア)一般配管 ● SGP（白） ● STPG (イ)土間下配管 ● SGP－VS ● STPG－VS (ウ)地中配管 ● SGP－VS ● STPG－VS ※ 10K ● 16K (ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する (イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する (ウ)配管の保温は次による。（屋外露出箇所は別表2・（ウ）・Ⅶによる ● 施工しない ） ● 屋内消火栓用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● スプリンクラー用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● 連結送水用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● 連結放水用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓（ ※ 1号 ● 2号 ） ● 素索 ● IG－541 ● IG－55 ● HFC－227ea ● HFC－23 ※ 手動 ● 自動手動切替式
	37 グリーン購入	グリーン購入は次のものとする。 ● 空調用機器（ ） ● 衛生器具（ ） ● 断熱材（ ） ● 配管材（ ● 再生硬質ポリ塩化ビニル管 ） ● その他（ ）	17 消音内貼り	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）		2 弁類	● 5K ● 10K
	38 鳥取県公共工事環境配慮指針	対象工事	18 瞬間流量計及び流量測定口	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）		3 保温	● 5K ● 10K
	39 建築物省エネ法	対象工事	19 定風量・変風量ユニット	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）		4 屋内消火栓	● 親メーター ※ 借用 ● 買取（取付け ※ 別途 ● 本工事 ） ● 子メーター ※ 買取 ● 借用（取付け ※ 本工事 ● 別途 ） ● 継型 ● 横型 ● 借用 ● 買取 ● 標準図（施工74）の ● 要領（a） ● 要領（b） ● 要領（c） ● 標準図（施工75）の ● 要領（a） ● 要領（b） ● 不要 ● 要（ ※ 別途工事 ● 本工事 ）
	40 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。 (1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度	20 温度計	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）		5 ガス系消火剤の種類	● 素索 ● IG－541 ● IG－55 ● HFC－227ea ● HFC－23 ※ 手動 ● 自動手動切替式
		設計用標準水平震度	21 冷温水管の空気抜き	※ SGP（白） ● SGP－HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）		6 ガス系消火の起動方式	※ 手動 ● 自動手動切替式
一般 共通 事項	41 アンカーボルトの引張試験	上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの 重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置 ● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類（燃料小出槽を含む） ●（ ） (2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (3) 設備					

工事概要

工事場所	対象	建築工事	機械設備工事	電気設備工事
夢広場トイレ	男子トイレ	トイレブース撤去・新設 壁・床仕上げ部分補修	和風便器を洋風便器に改修	コンセントの増設
	女子トイレ	トイレブース撤去・新設 壁・床仕上げ部分補修	和風便器を洋風便器に改修	コンセントの増設
	多目的トイレ	—	洋風便器の更新	コンセントの増設



付近見取図



東郷池

配置図 S=1/700

：工事対象範囲



一級建築士事務所／建築設備設計事務所
Mechanical&Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 08-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認
田村

管理技術者
角田

担当
角田

作図
角田

縮尺 1/700 (A2)
設計年月日 2026. 09

工事名称 東郷湖羽合臨海公園夢広場トイレ洋式化改修工事
図面名称 配置図・付近見取図

図面番号
M-04 / 05

衛生器具表（改修後）

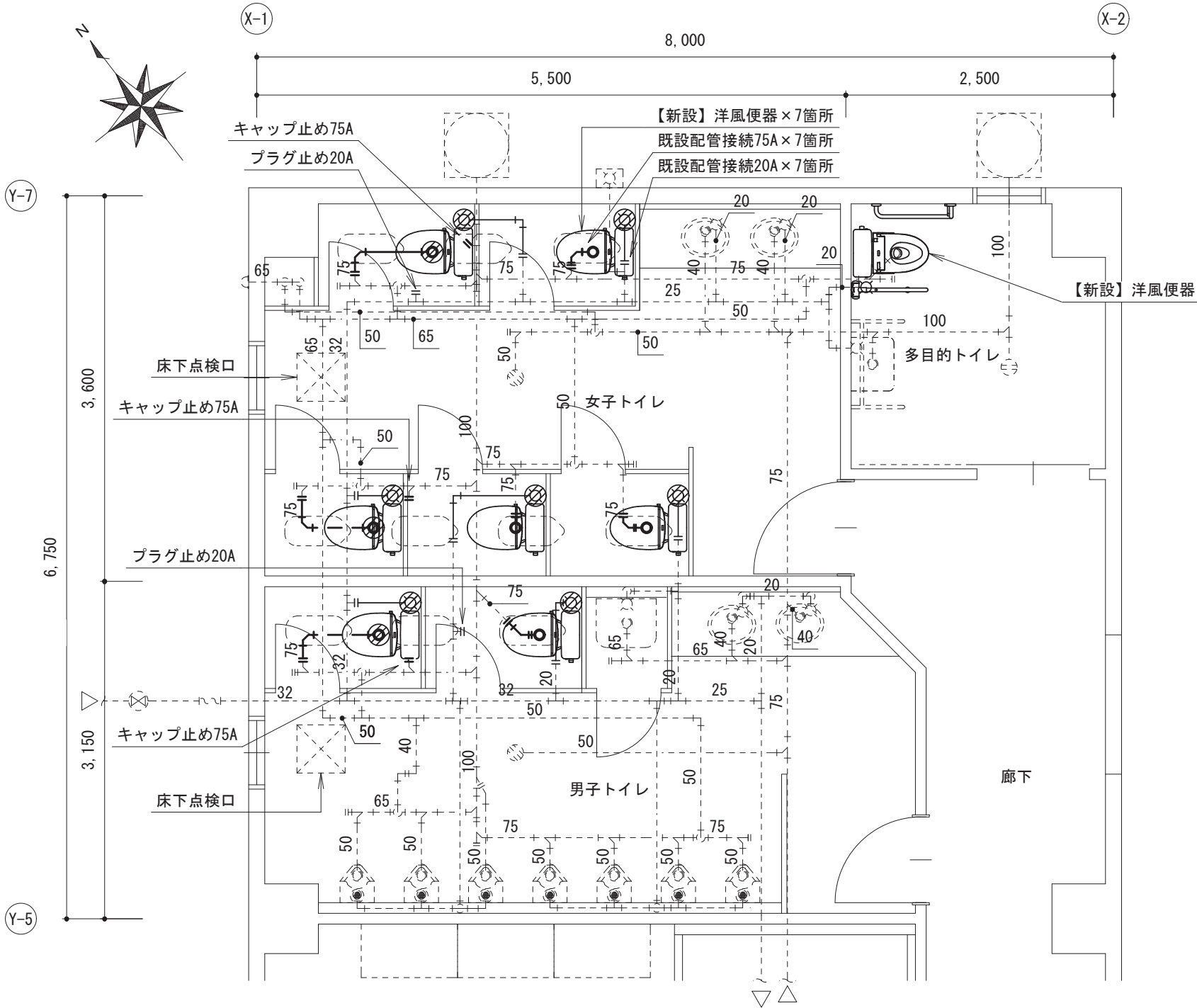
名 称	型 式 (TOTO)	仕 様	男子 トイレ	女子 トイレ	多 目的 トイレ	合 計	備 考
洋風便器	CS597BMCS, SH596BAYR, TCF116, YH702	リモデルタイプ、ロータンク（ふた固定）、掃除口付 暖房便座（AC100V）、棚付二連紙巻器	2	5		7	【新設】
洋風便器	CS597BMCS, SH596BAYR, TCF553AUP YH702	リモデルタイプ、ロータンク（ふた固定）、掃除口付、洗浄リモコン（発電式） 温水洗浄便座（貯湯式・金属プレート仕様・AC100V）、発電式リモコン） 二連紙巻器			1	1	【新設】
L型手すり	T112CL10	樹脂製			1	1	【新設】
可動式手すり	T112HK7R	樹脂製			1	1	【新設】

注記

※図中の太線は新設対象機器及び配管・同付属品を示す。
※特記なき配管は、ビット内配管とする。
※図中  は和風便器穴埋め補修を示す。（別紙図面参照 A-01, 02）
※図中  はコンクリートはつり補修箇所を示す。
※新設洋風便器の排水立上げ位置は、和風便器の穴を再利用する。（7箇所の内4箇所）
※洋式化改修箇所のトイレブースは全て新設する。（別紙図面参照 A-01, 02）
※図中、表記無き給水管の口径は20Aとする。

凡 例

記 号	名 称	管 種
	給水管	屋内一般：SGP-VB（JWWA-K116）
	排水管	屋内一般：VP（JIS-K6741）



トイレ平面詳細図（改修後）S=1/50

衛生器具表（改修前）

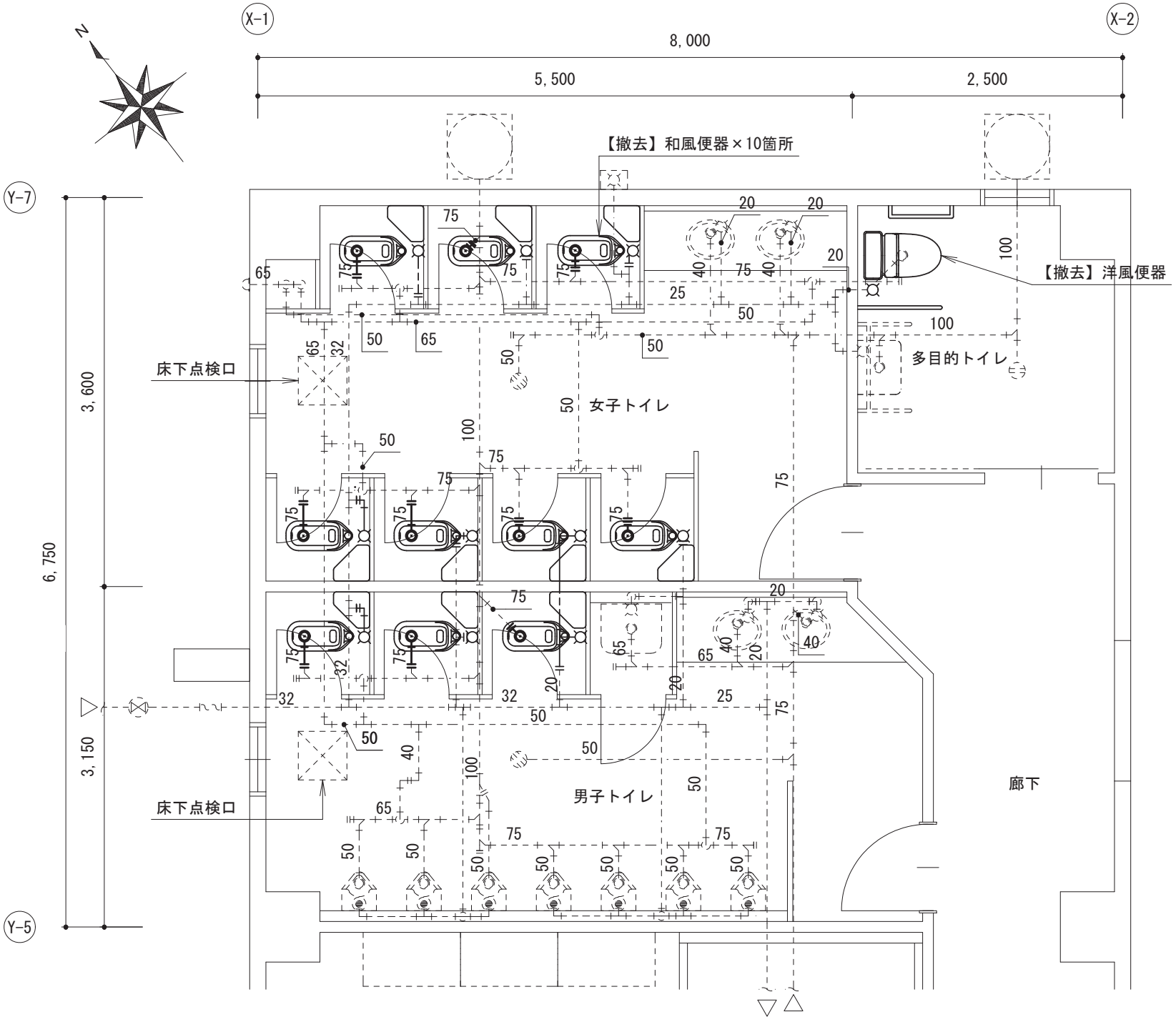
名 称	型 式 (TOTO)	仕 様	男子 トイレ	女子 トイレ	多 目的 トイレ	合 計	備 考
和風便器	C750V, S570B, TS671F	ロータンク、紙巻器、床給水	3	7		10	【撤去】
洋風便器	C710, S710B, TS710-1ZSS	ロータンク、普通便座、紙巻器、床給水			1	1	【撤去】
L型手すり		SUS製			1	1	【撤去】
便器用手すり		SUS製			1	1	【撤去】

注記

※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示す。
※特記なき配管は、ビット内配管とする。
※紙巻器等取外し後のビス穴は、穴埋め補修を行うこと。
※洋式化改修箇所のトイレブースは全て撤去する。（別紙図面参照 A-01, 02）
※図中、表記無き給水管の口径は20Aとする。
※配管撤去後の不要となる配管貫通口はモルタル等で穴埋め補修を行うこと。

凡 例

記 号	名 称	管 種
	給水管	屋内一般：SGP-VB（JWWA-K116）
	排水管	屋内一般：VP（JIS-K6741）



トイレ平面詳細図（改修前）S=1/50



一級建築士事務所／建築設備設計事務所



一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 08-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承 認

田村

管理技術者

角田

担 当

角田

作 図

角田

縮 尺

1/50 (A2)

設計年月日

2026. 09

工事名称

東郷湖羽合臨海公園夢広場トイレ洋式化改修工事

図面名称

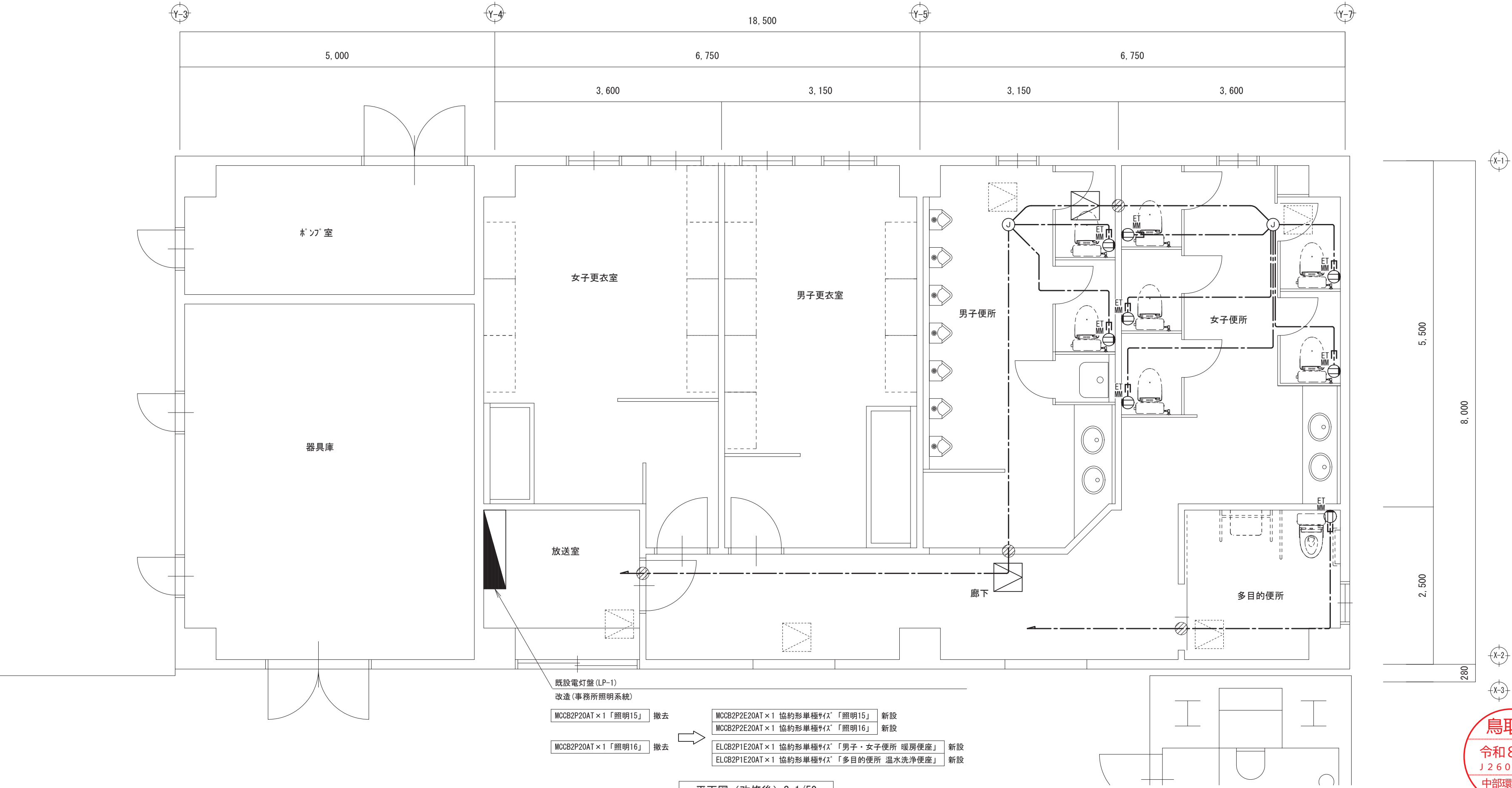
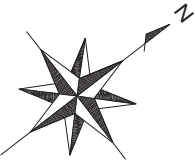
機械設備工事 衛生設備 平面図（改修後・改修前）

図面番号

M-05 / 05

注 記

1. 図中、指示なき配管配線は下記による。		
	EM-EEF2. 0-3C (107-ス)	天 井 内
2. 図中、指示なき太線の配管配線及びｼﾝｸﾞﾙは新設を示す。		
3. 図中、指示なき細線のｼﾝｸﾞﾙは既設を示す。		
4. 図中、MM付記ｼﾝｸﾞﾙの立下げ配線は1種金属線び(A型)にて保護とし、MM用ｽｲｯﾁﾞｯｸｽを見込む。		
5. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。		
6. 停電作業は、施設運営に影響が無い期間(時間)に行い、停電時間が最短となるよう検討すること。		
7. 図中、印はRCはつり補修を示す。		
8. 天井材にはｱｽﾍﾞｽﾄ含有の恐れがあるため、1機体分析調査を行い、監督員に報告すること。		
なお、ｱｽﾍﾞｽﾄ含有が認められた場合は監督員と協議の上、適正に撤去処分すること。		
記 号	名 称	摘 要
ET	埋込コンセント	2P15A×1, ET 新 設
J	ﾌﾟﾛﾄﾞﾚｯﾄﾞﾞｯｸｽ	中四角 D44 新 設
	天井点検口	450×450 新 設
	天井点検口	既 設



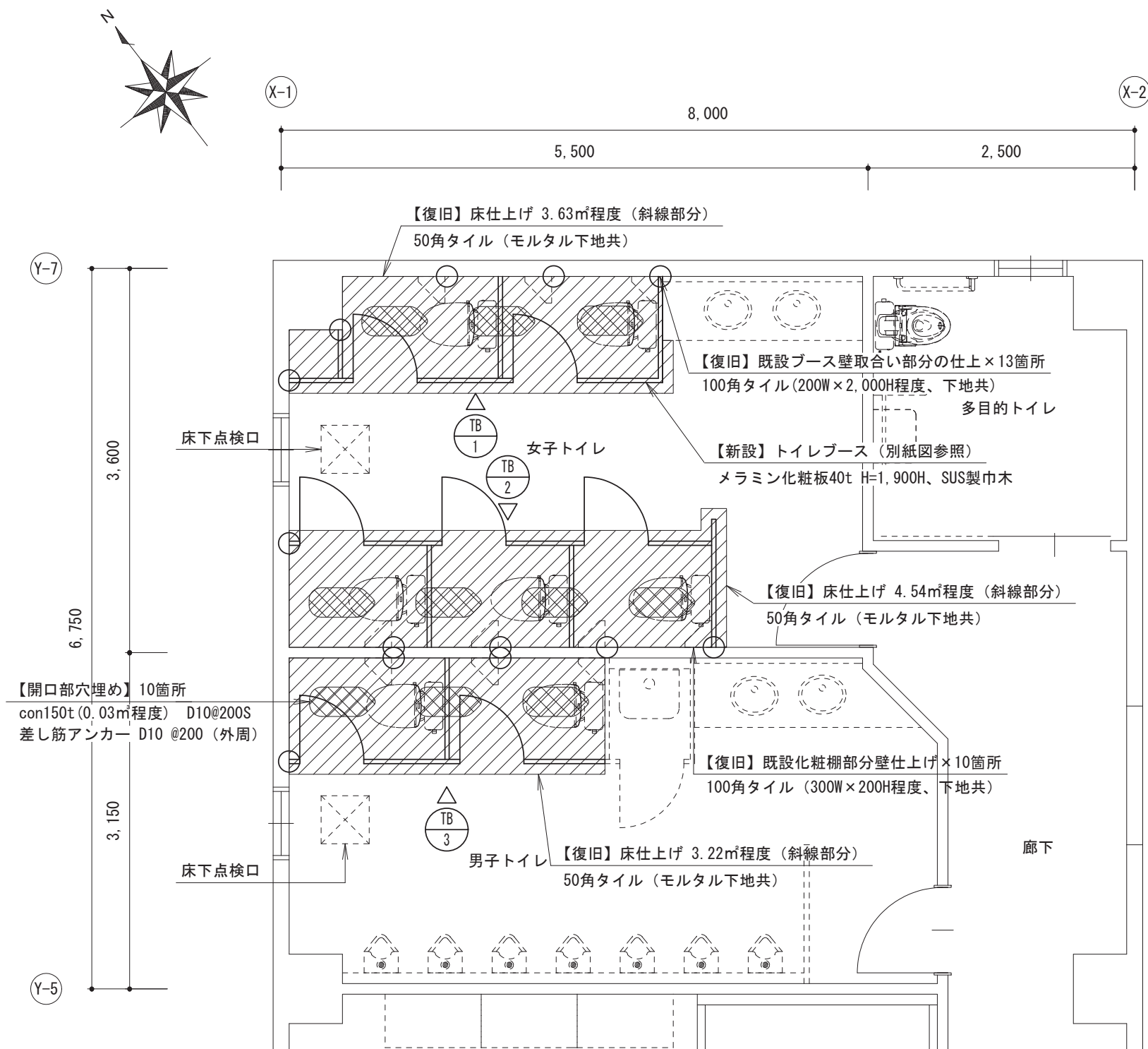
- 既設電灯盤 (LP-1)
改造 (事務所照明系統)
- MCCB2P20AT × 1 「照明15」 撤去
- MCCB2P20AT × 1 「照明16」 撤去
- MCCB2P2E20AT × 1 協約形単極ﾌｻﾞﾞｽﾞ 「照明15」 新設
- MCCB2P2E20AT × 1 協約形単極ﾌｻﾞﾞｽﾞ 「照明16」 新設
- ELCB2P1E20AT × 1 協約形単極ﾌｻﾞﾞｽﾞ 「男子・女子便所 暖房便座」 新設
- ELCB2P1E20AT × 1 協約形単極ﾌｻﾞﾞｽﾞ 「多目的便所 温水洗浄便座」 新設

平面図 (改修後) S=1/50



注記

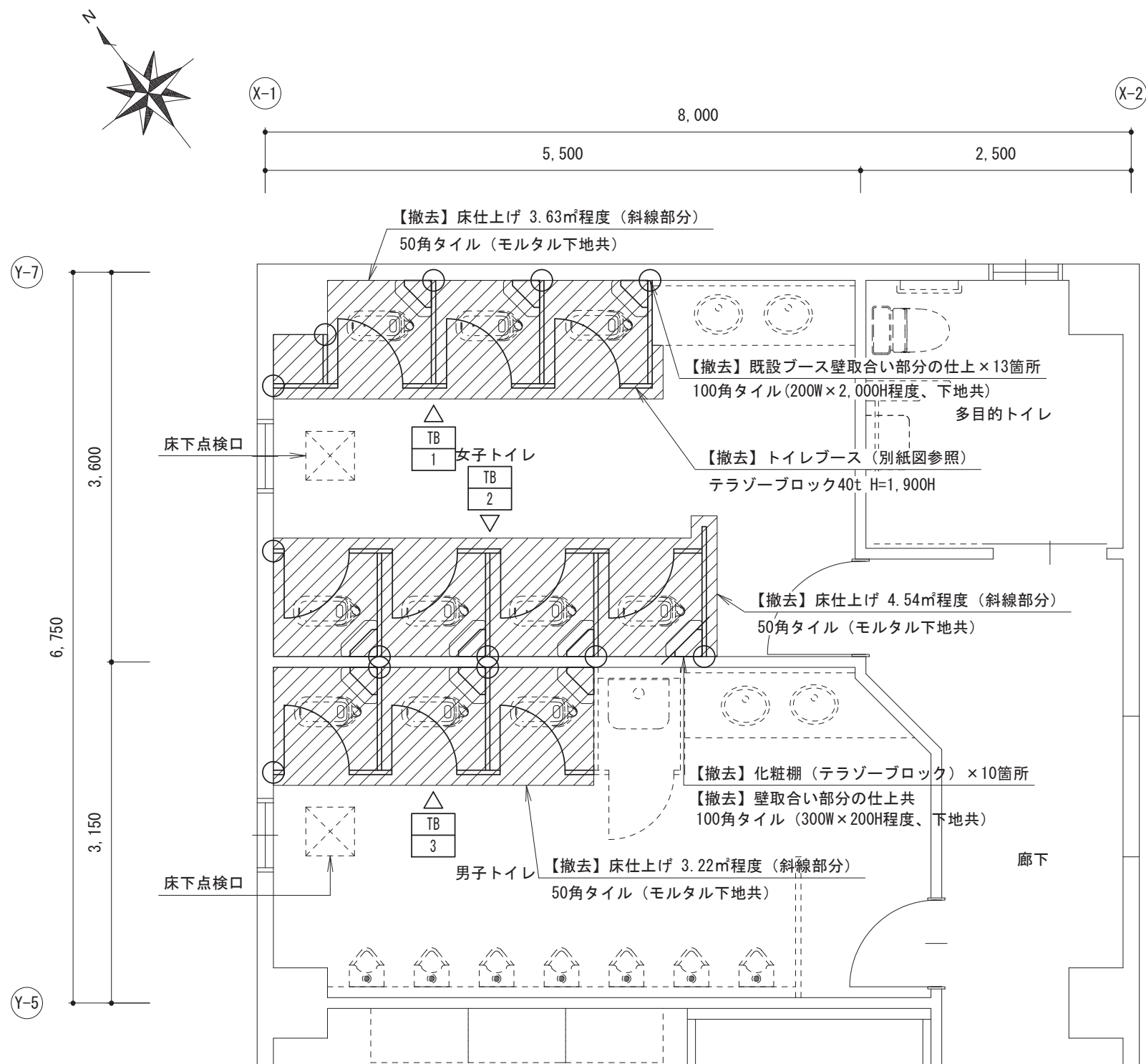
※図中の太線は新設・復旧箇所を示し、細線は既設を示す。
※図中  は開口部穴埋め箇所を示し、本工事とする。
※トイレブースの詳細は別紙建具表（A-02）を参照すること。



トイレ平面詳細図（改修後）S=1/50

注記

※図中の太線は撤去箇所を示し、細線は既設を示す。
※トイレブース撤去に伴い、壁・床の仕上げはブースの周囲100mmずつカッター切りで撤去する。



トイレ平面詳細図（改修前）S=1/50

改修

鳥取県

令和8年度

J2600372

中部環境建築局

一級建築士事務所／建築設備設計事務所



一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 08-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認

田村

管理技術者

角田

担当

角田

作図

角田

縮尺

1/50 (A2)

設計年月日

2026. 09

工事名称

東郷湖羽合臨海公園夢広場トイレ洋式化改修工事

図面名称

建築工事 平面図（改修後・改修前）

図面番号

A-01

02

